



# 高齢者の暮らしを考える

今回は、切れ目のない医療介護サービスの実現のために開催されている多職種勉強会についてご紹介しました。松阪市ではこのような地域連携のための取り組みがいくつも行われています。今回は「三病院と介護支援専門員協会の連携会議」から、医療と介護の連携の中心となるケアマネジャーとケースワーカー、退院調整看護師にお話を伺いました。

## インタビュー

### 「三病院と介護支援専門員協会の連携会議」について教えてください。

この会議は昨年より地域包括ケアシステムの推進のために開催されることになりました。患者様の入院・退院時の支援の中で関わりのあるケアマネジャーとケースワーカーですが、更なる連携を目指すためにこのような取り組みを始めました。連携のとりやすい関係性づくりから、次のステップとして具体的な事例をもとにした話し合いも行っています。

地域の方々が安心して暮らせるまちづくりのために、今後の取り組みを教えてください。

### ケアマネジャー・退院調整看護師

病気やケガのために治療が必要になった患者様が、退院後も安心して在宅で生活できることが一番の課題です。一人ひとりで違った病気や、ケガ、そして生活歴や金銭面の問題などを持たれている患者様に寄り添った支援を行うには、在宅での生活から深く関わりのあるケアマネジャーとの情報共有がすごく大切です。在宅での様子や入院生活で起こったことなど細かな情報をお互いにやり取りすることで入院や退院時の支援をスムーズに行うことができます。もちろん患者様の生活を支援するには、実際にはもっと複数の職種の方が関わっています。この会議を基盤として交流を広げ、患者様の安心につなげていきたいです。

### ケアマネジャー

(三重県介護支援専門員協会松阪支部) ケアマネジャーは、在宅療養を支援する職種やサービス事業所にとって、「情報



の要」であり、「連携の要」です。患者様やご家族様からお預かりした大切な情報を、入院時に正しく病院側に伝え、連携することで、安心して生活の場へ戻っていただけると考えています。

昨年よりスタートしたこの会議で顔を合わせることで、より密接な関係ができていくことを実感しています。これからも協会として、患者様に安心して生活していただくための仕組みづくりを多職種の方々と共に続けていくことで、松阪市と多気郡三町の隅々まで滞りなく連携が行えるよう、会員のサポートも行っていきたく考えています。